

科目名	インテリアデザイン	英語科目名	Interior Design
開講年度・学期	平成22年度 後期	対象学科・専攻・学年	建築学科3年
授業形態	講義＋演習	必修 or 選択	必修
単位数	1単位	単位種類	履修単位(30 時間単位)
担当教員	柴田晃宏	居室(もしくは所属)	建築学科棟 2 階 サインスタジオ内
電話	0285-20-2843	E-mail	khrshbt@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
<ol style="list-style-type: none"> 有名デザイナーの家具を知り、家具デザインの変遷について理解する インテリアデザインにおける素材と仕上げについて理解する 色彩の基礎を学習し、カラーコーディネートの手法を理解する インテリアデザインにおける各種寸法とモジュラーコーディネーションについて理解する 様々な用途における家具レイアウト及び内装表現について学ぶ 日本住居の歴史的な内装様式やプランの変遷を理解する スケルトン・インフィルの概念と構法的な特徴を理解する インテリアデザインの提案手法を理解する 			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標1～7: 期末試験における60%以上の成績で評価する。 達成目標8: 演習課題の内容を設定水準で評価し、60%以上の成績を達成とする。			
評価方法			
評価は下記の項目を総合して行う。 <ol style="list-style-type: none"> 期末試験(50%) 演習課題(50%) 			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> インテリアデザイン概論 家具デザイン(著名デザイナーの家具) 家具デザイン(ディテール) インテリアデザインの素材と仕上げ カラーコーディネイト モジュラーコーディネーション オフィスの家具レイアウト 商業空間 和風の舗設(寝殿造, 書院, 数寄屋) 住居のインテリア(プランニング) 住居のインテリア(畳と障子からホワイトキューブへ) スケルトン・インフィル インテリアコーディネイト演習 インテリアコーディネイト演習 定期試験 試験解説 			
キーワード	インテリア, 家具, 人間工学, 色彩,		
教科書	インテリアデザイン教科書(彰国社, 1993)		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 図解 住まいとインテリアデザイン(彰国社, 2007) 尾上孝一他 [完全図解]インテリアコーディネイトテキスト(井上書院, 2006) 檜崎雄之 図説インテリアデザインの基礎(井上書院, 2006) 		
小山高専の教育方針①～⑥との対応	②		
技術者教育プログラムの学習・教育目標 (A-1) 科学や工学の基本原理や法則の基礎知識を身につけること。			
JABEE 基準1の(1)との関係	d(1), (g)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	建築製図Ⅱ		
現学年の関連科目	建築計画Ⅰ		
次年度以降の関連科目	建築計画Ⅱ, 建築意匠		
連絡事項			
<ol style="list-style-type: none"> インテリア空間は人間が生活する場であり、あるいは働く場であり、居住の重要な場である。その重要性を認識してもらいたい。 試験は時間を50分とし、テキスト、配布資料の持ち込みを可とする。 			
シラバス作成年月日	平成 22 年 8 月 25 日		